



## RSV感染症、流行の兆し！

5月下旬、市内の保育所でRSV感染症の流行がみられました。RSV感染症は細気管支に炎症を起こす呼吸器の感染症ですが、乳幼児（特に6か月未満）がかかると重症になるので注意が必要です。最初は咳、鼻水、熱の症状で始まりますが、次第にゼーゼーいうようになり呼吸困難から入院管理が必要になることも少なくありません。この病気は一度かかっても何度もかかることが特徴で、2歳以上ではすでに一度は感染しているといわれています。再感染では軽症に経過することが多いために、お兄ちゃんや周りの大人がかかって、知らないあいだに乳児に感染させてしまうこともあります。

残念ながら、RSV感染症に効く薬やワクチンは現時点ではありません。地域の流行状況を把握して疑わしい場合は早めにかかりつけを受診するようにしてください。保育所でRSV感染症が流行したときは、重症化しやすい0歳児と1歳以上児の接触を避ける、お互いの交流を避けるようにしましょう。感染経路は飛沫感染以外に接触感染もありますので、おもちゃの管理も重要です。

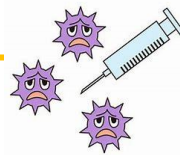


## 新型コロナワクチンを受けて感じたこと・・・

私は5月に2回目の新型コロナワクチンの接種を終えました。ワクチンを受けた私の印象は、腕の痛みを伴って軽いインフルエンザにかかったような感じでした。他のスタッフの意見もまとめると以下の通りです。

①接種部位の痛みは程度の差はあれ100%。②発熱もほぼ必発で、38.5℃以上の高熱がでた人もあり。③関節痛、頭痛も半数以上にあり。④2回目の方が症状が強い。⑤解熱鎮痛剤は腕の痛み、発熱には効果がないが、頭痛や関節痛には効果を認めた。⑥接種後3日目にはこれらの症状はうそのように消失した。

これらの副反応は体内で抗体を産生するための免疫反応だと考えられます。過剰に反応して心配するのではなく、安静にして嵐が過ぎ去るのを待つことが大切です。しかし、翌日高熱で寝込むスタッフもあり、これまでのワクチンの副反応とは別次元のものだと感じました。(院長)



## 市の事前登録がネットから可能に！

上記のQRコードから「あずかるちゃん」に登録後、キッズケア青い鳥の利用登録をして、施設からの承認を受ければ、事前登録が完了します。

## 5月の感染症情報

5月中旬から感染性胃腸炎の流行は下火になりました。それにかわって、アデノウイルスの咽頭・扁桃炎、RSV感染症のお子さんが目立ち始めました。新入園でかぜをひくお子さんが増えました。気温の変化が激しい日々が続きます。体調管理にはご注意ください。

## 5月の利用状況

5月の利用延べ人数は48名で1日平均利用人数は2.8人でした。年齢別では、1歳児が27人(56%)で最も多く、次いで0歳児の8人(17%)の順でした。疾患別では急性上気道炎が25人(52%)、感染性胃腸炎14人(29%)の順に多く、アデノウイルス感染症、RSV感染症などがありました。5月は普通感冒以外に複数の感染症が混在したため、お部屋の都合でお預かりできる児童数が限られお断りしたケースがありました。できるだけ受け入れられるように努力してまいります。なにとぞご理解のほどよろしくお願い致します。